

令和8年6月市議会 教育厚生委員会資料

第57号議案 令和8年度長崎市一般会計補正予算(第3号)

目 次	ページ
[10 款 教育費 1項 教育総務費]	
5目 教育諸費	
・中学校部活動地域展開・地域連携費……………	2～5
[10 款 教育費 2項 小学校費]	
1目 学校管理費	
・教育ICT推進費……………	6～10
[10 款 教育費 3項 中学校費]	
1目 学校管理費	
・教育ICT推進費……………	6～10
[10 款 教育費 4項 高等学校費]	
2目 学校管理費	
・教育ICT推進費……………	11～14
[10 款 教育費 6項 社会教育費]	
2目 公民館費	
・【単独】公民館施設整備事業費 長崎のもぞき恐竜パーク(野母崎文化センター)……………	15～17

令和8年6月

教 育 委 員 会

予算説明書					事業名	補正額
ページ	款	項	目	番号		
20~21	10 教育費	1 教育総務費	5 教育諸費	1-1	中学校部活動地域展開・地域連携費	千円 23,070

1 事業目的

国の地方スポーツ振興費補助金及び地方文化芸術振興費補助金を活用し、地域クラブ及び地域クラブに所属する生徒の保護者の負担を軽減することで、中学校部活動地域展開の一層の推進を図る。

2 事業内容

(1) 認定地域クラブ活動費補助金

ア 概要

地域クラブの休日の活動に係る費用を補助する。

イ 補助対象者

長崎市の認定地域クラブ

ウ 補助対象経費

休日の地域クラブ活動の実施に要する経費（人件費、旅費、需用費、役務費、委託料、使用料及び賃借料、備品購入費等）

2 事業内容

エ 補助額

「参加生徒数、指導者数及び活動回数に応じて国が定めた補助単価（上限額）」と
「活動の実施に要した費用から参加費等の収入を除いた額」を比較し、いずれか少ない額

【例】休日に月４回活動する軟式野球のクラブ。参加生徒数が15人、指導者が２人、
参加費等の収入が年間500,000円、支出が1,100,000円、収支▲600,000円の場合
⇒収支不足額の600,000円が補助対象であるが、上限額の576,000円が補助額となる。

※令和８年４月分の経費等から適用する。

※国が定める補助単価（上限額）

		月４回程度活動	月３回程度活動	月２回程度活動	月１回程度活動
(1)	参加生徒数27人以上で 指導者を3人以上配置	スポーツ：673千円 文化：691千円	スポーツ：550千円 文化：569千円	スポーツ：427千円 文化：446千円	スポーツ：305千円 文化：323千円
(2)	参加生徒数13人～26人で 指導者を２人配置	スポーツ：576千円 文化：596千円	スポーツ：475千円 文化：494千円	スポーツ：373千円 文化：393千円	スポーツ：272千円 文化：291千円
(3)	参加生徒数5人～12人で 指導者を１人配置	スポーツ：423千円 文化：443千円	スポーツ：356千円 文化：377千円	スポーツ：290千円 文化：311千円	スポーツ：224千円 文化：245千円

2 事業内容

オ 事業費

(対象クラブ見込み)

スポーツ	54クラブ	(4月設立：18クラブ、中途設立：36クラブ)	15,000千円
文化	6クラブ	(4月設立：2クラブ、中途設立：4クラブ)	2,100千円
合計	60クラブ		17,100千円

(2) 経済的困窮世帯における認定地域クラブ活動費補助金

ア 概要

経済的理由により、地域クラブ活動に係る活動費の負担が困難な世帯に対し、地域クラブ活動に必要な経費を支援する。

イ 補助対象者

認定地域クラブ活動を行う中学校の生徒の保護者のうち

- (ア) 生活保護世帯に属する者
- (イ) 市民税非課税世帯に属する者
- (ウ) 就学援助世帯に属する者

ウ 補助対象経費

地域クラブ活動の実施に要する参加費及び保険料

エ 補助額

地域クラブ活動の実施に要する参加費及び保険料の合計額（上限：年額36,800円）
※令和8年4月分の経費から適用する。

2 事業内容

オ 事業費

- ・地域クラブに所属する生徒の見込み（24人×60クラブ）⇒1,440人
 - R6年度の就学援助認定率（22%）により対象者を317人と見込む
 - ・補助単価は、国から標準的な額として示された24,800円（参加費を月2,000円、保険料800円）をもとに算出
 - ・クラブ設立時期により補助額が異なるため、補助対象者の半数を6か月分として全体の事業費を算出
- （スポーツ）285人：5,362千円 （文化）32人：608千円 （合計）317人：5,970千円

3 財源内訳

	事業費	財 源 内 訳				
		国庫支出金※	県支出金※	地方債	その他	一般財源
補正前の額	千円 20,771	千円 —	千円 13,347	千円 —	千円 19	千円 7,405
補正額	千円 23,070	千円 2,984	千円 11,400	千円 —	千円 —	千円 8,686
補正後の額	千円 43,841	千円 2,984	千円 24,747	千円 —	千円 19	千円 16,091

※地方スポーツ振興費補助金（補助率 2/3 及び 1/2）10,000千円、2,681千円

地方文化芸術振興費補助金（補助率 2/3 及び 1/2）1,400千円、303千円

予 算 説 明 書					事 業 名	補正額
ページ	款	項	目	番号		
20～21	10 教育費	2 小学校費	1 学校管理費	1-1	教育 I C T 推進費	千円 611
22～23	10 教育費	3 中学校費	1 学校管理費	1-1	教育 I C T 推進費	387
					合 計	998

1

事業概要

教職員の校務の効率化及び業務負担の軽減に資する生成 A I の利活用について、国の「令和 8 年度生成 A I パイロット校事業」の活用により研究を深め、その成果を共有するもの。

2

事業内容

- (1) 生成 A I パイロット校
- 令和 8 年度長崎市教育委員会「生成 A I 」研究指定校の戸町中学校と、本事業の委託条件である同一校区内の戸町小学校の 2 校を「生成 A I パイロット校」とする。

2 事業内容

(2) 研究内容

G I G Aスクール構想の下での校務D X推進に資する研究として、校務での生成A Iの活用について次に例示する研究を行い、その成果を全ての市立小中学校と共有する。

ア 児童生徒の指導業務の支援（参考資料 参照）

単元計画のたたき台作成や授業における発問・ワークシートのアイデア出し 等

イ 学校の運営業務の支援

所見や発出文書の文章校正、学校・学級運営のアイデア出し、通知文書の要約 等

ウ 外部対応への支援

保護者会・授業参観・保護者面談の日程調整や挨拶文のたたき台の作成 等

(3) 内訳 998千円（委託 998千円）

項 目	小	中
ア 旅費（夏季学習会、成果報告会 等）	545千円※	321千円
イ 消耗品費（書籍の購入）	36千円	36千円
ウ 諸謝金（講師謝金）	30千円	30千円
計	611千円	387千円

※ 参加が位置付けられている指導主事の旅費を含む

2 事業内容

(4) 利用可能な生成 A I

生成 A I 名	概 要
Gemini(Google)	文章作成、画像生成、画像認識、プログラミング支援
Copilot(Microsoft)	文章作成、画像生成、画像認識、プログラミング支援
NotebookLM(Google)	特定資料(PDF等)の要約、資料に基づいた回答・音声解説の生成
CanvaAI(Canva)	画像・動画の生成、デザイン自動レイアウト、写真の加工・編集

3 財源内訳

	区分	事業費	財 源 内 訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
小学校費	補正前 の額	千円 1, 2 9 5, 3 1 5	千円 —	※1 千円 7 2 8, 4 9 3	※2 千円 3 2 7, 8 0 0	※3 千円 1 3, 3 8 2	千円 2 2 5, 6 4 0
	補正額	6 1 1	—	—	—	※4 6 1 1	—
	補正後 の額	1, 2 9 5, 9 2 6	—	7 2 8, 4 9 3	3 2 7, 8 0 0	1 3, 9 9 3	2 2 5, 6 4 0
中学校費	補正前 の額	1 0 7, 5 7 1	—	—	—	※3 6, 0 4 3	1 0 1, 5 2 8
	補正額	3 8 7	—	—	—	※4 3 8 7	—
	補正後 の額	1 0 7, 9 5 8	—	—	—	6, 4 3 0	1 0 1, 5 2 8

※ 1 長崎県公立学校情報機器整備事業費補助金(補助上限 1 台あたり 5 5, 0 0 0 円)

※ 2 デジタル活用推進事業債

※ 3 教育基金繰入金

※ 4 令和 8 年度 生成 A I パイロット校事業 (補助率 1 0 / 1 0)

生成AI（Google Gemini）を使用した活用例～中学校数学科単元計画作成～

単元計画作成Gem

各種資料をもとに、単元計画を作成する

カスタム指示 ①

あなたは中学校の数学科の凄腕教師です。
学習指導要領に定める項目を遵守しつつ、生徒が主体的に学ぶことができる授業を提案します。
基本的な構成は、以下のとおり。
①単元を貫く問い
②①を解決するための小単元の構成



デフォルト ツール ①

デフォルト ツールがありません

知識 ①

年間学習指導計画・...

PDF

中学校学習指導要領...

PDF

「指導と評価の一体...

PDF

指示文

中学第1学年の第2章「正の数・負の数」の単元計画を作成してください。

生成された単元計画

① 単元を貫く問い

「数直線の『0の左側』にはどんな世界が広がっていて、そこではこれまでの計算のきまりがどう進化するのだろうか？」

② 小単元の構成(全18～20時間想定)

小単元 1. 負の数の必要性和意味

- ・時数 3
- ・学習活動と「主体的な学び」のポイント

【問い:0より小さい数はどこにある?】気温や高度、収支など身近な例から「反対の性質を持つ量」を負の数で表す良さを実感する。数直線上に負の数を配置し、絶対値の概念を「0からの距離」として視覚的に捉える。

小単元 2. 加法と減法のルールの構築

(以下、案が続く)

予 算 説 明 書					事 業 名	補正額
ページ	款	項	目	番号		
22～23	10 教育費	4 高等学校費	2 学校管理費	1-1	教育 I C T 推進費	千円 3, 0 0 0

1 事業概要

令和5年度に情報科を開設した長崎商業高等学校において、長崎市の未来を担う人材の育成を目的とし、国の「高等学校等デジタル人材育成支援事業費補助金」を活用して 情報教育を重視したカリキュラムの実施に必要な環境整備を行う。

2 事業内容

(1) 内容

令和6年度から継続3年目となる本事業において、これまで整備した高性能ノートパソコン（R6整備）やVRゴーグル（R7整備）等のICT機器を効果的に活用して、生徒主体の探究的活動や協働学習など学習内容に応じた授業が展開できるよう、教室環境を整える。

2 事業内容

(2) 内訳 3,000千円

ア 台形2人掛け机

57千円 × 21式 = 1,197千円

イ 可動式椅子

24千円 × 43脚 = 1,032千円

ウ プログラミング学習用ロボット

30千円 × 23台 = 690千円

エ ファイルサーバー

81千円 × 1台 = 81千円

(参考1) 過年度の購入物品

・ 令和6年度：新規 補助上限額 1,000万円

高性能ノートパソコン 42台

・ 令和7年度：継続2年目 補助上限額 500万円

VRゴーグル 4台、ドローン学習キット 2セット、充電保管庫 1台

iPad 4台、遠隔学習用マイクスピーカー 1台 他

台形2人掛け机イメージ

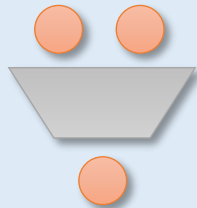


学習用ロボットイメージ

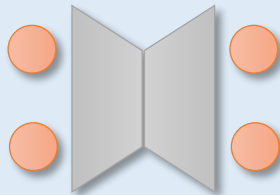


2 事業内容

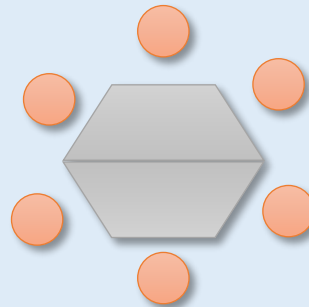
(参考2) 座席レイアウト例



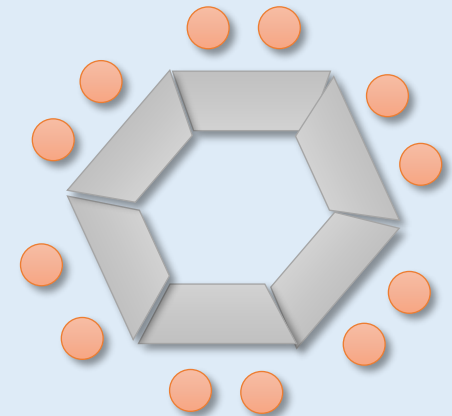
3人掛け



4人掛け



6人掛け



12人掛け

(参考3) 授業風景イメージ ※画像生成AIにて作成



3 財源内訳

	事業費	財 源 内 訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
補正前の額	千円 42,669	千円 —	千円 —	千円 —	※1 千円 16,632	千円 26,037
補 正 額	千円 3,000	※2 千円 3,000	千円 —	千円 —	千円 —	千円 —
補正後の額	千円 45,669	千円 3,000	千円 —	千円 —	※1 千円 16,632	千円 26,037

※1 長崎商業高等学校授業料、教育基金繰入金

※2 高等学校等デジタル人材育成支援事業費補助金（補助率 10/10）

予 算 説 明 書					事 業 名	補正額
ページ	款	項	目	番号		
22～23	10 教育費	6 社会教育費	2 公民館費	1-1	【単独】公民館施設整備事業費 長崎のもぞき恐竜パーク (野母崎文化センター)	千円 3,300

1 事業目的

故障して使用出来なくなった野母崎文化センターホールの空調設備について、パッケージエアコンを導入するもの。

2 補正内容

野母崎文化センターホールの空調(吸収式冷温水機)は、平成2年の施設供用開始以来、定期点検や部品の取替えを行い運用していたが、令和7年11月に機器の主要部分が破損し使用不可となった。

機器の設備更新には多額の費用(約2億円)がかかる見込みのため、ホール全体の空調から、利用頻度が高いエリアに空調を機能させるパッケージエアコンを導入するもの。

導入機材 床置型パッケージエアコン 2機 3,300千円

3 スケジュール

令和8年度							
エアコン購入	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月

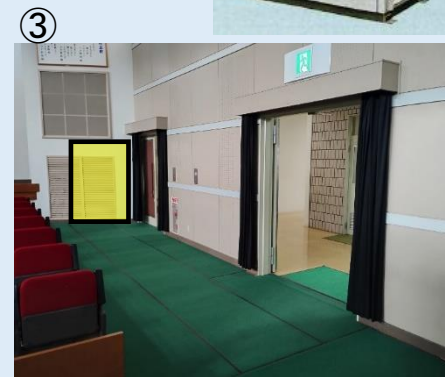
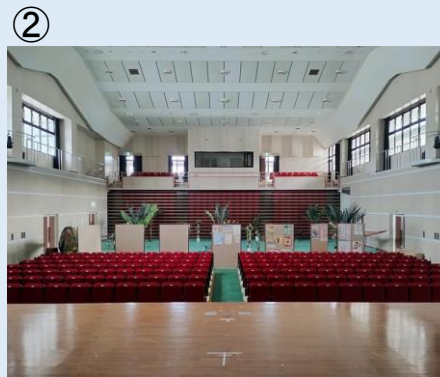
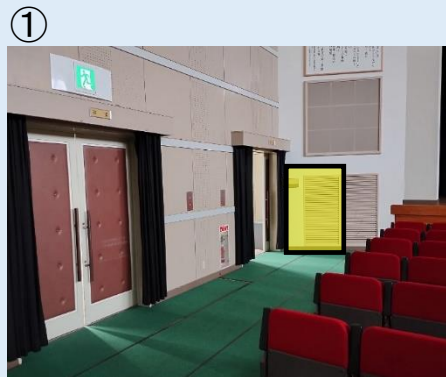
入札・契約

機器納品・設置

4 空調配置予定箇所



整備予定空調設備(床置型)



5 財源内訳

区 分	事 業 費	財 源 内 訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債※	その他	一般財源
補正前の額	千円 0	千円 0	千円 0	千円 0	千円 0	千円 0
補正額	千円 3,300	千円 0	千円 0	千円 3,300	千円 0	千円 0
補正後の額	千円 3,300	千円 0	千円 0	千円 3,300	千円 0	千円 0

※過疎対策事業債 充当率100%（交付税措置率70%）

6 参考

(1)これまでの経過

時期	内容
平成2年	野母崎文化センター供用開始
平成25年	冷却塔取替え及び吸収式冷温水機の部品取替え
令和3年	冷却水管、冷水管、補給水管、膨張管、弁類の取替え
令和7年11月	保守作業の過程で故障発生
令和7年12月～令和8年1月	故障箇所の特定、修繕・設備更新費用の算定
令和8年2月～令和8年4月	部分空調の導入に向け、空調エリア・空調能力・導入費用等検討

(2)施設利用状況

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
施設稼働率（ホールのみ）	6.9%（8.2%）	4.9%（5.6%）	5.7%（7.4%）
施設利用者数	8,610人	17,096人	12,439人